

忘れじの ゆく末までは かたければ
今日を限りの 命ともがな

滝の音は たえて久しく なりぬれど
名こそ流れて なほ聞こえけれ

ありま山 猪名の笹原 風吹けば
いでそよ人を 忘れやはする